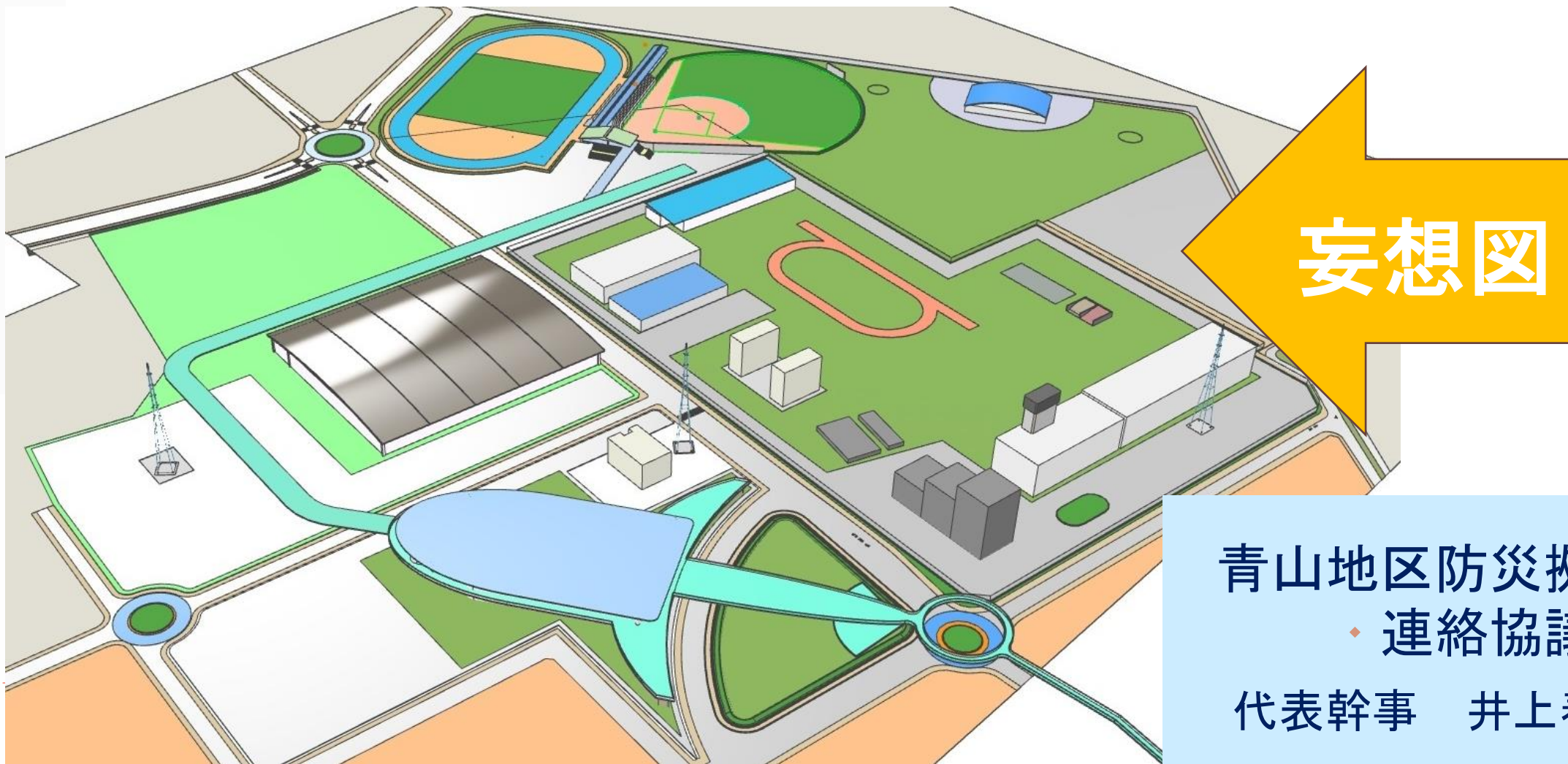


『愛知県基幹的広域防災拠点・ 豊山町避難所及びび賑わい施設』 勉強会



妄想図

青山地区防災拠点
・連絡協議会
代表幹事 井上春夫

愛知県基幹的広域防災拠点関連計画のタイムライン

令和3年度

令和3年度名古屋都市計画公園の変更・名古屋都市計画教育文化施設の決定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
都市計画法第16条 公聴会の開催等 住民の意見を 反映させるために 必要な措置	愛知県 「基幹的広域防災拠点」 豊山町「避難所等」 計画概要説明会				町民 アンケート調査 R3年8月	町内事業者 ヒアリング R3年8月		愛知県「基幹的広域防災拠点」 豊山町「避難所及び賑わい施設」 の事業計画説明会 R3年11月21・25日	愛知県「基幹的広域防災拠点」 豊山町「避難所及び賑わい施設」 事業の都市計画説明会 R3年12月26日	スポーツ団体 ヒアリング R3年12月～ R4年1月	防災拠点関連の パブリックコメント実施 R4年2月7日～2月21日		愛知県基幹的広域防災拠点事業関連事業 及び 豊山町避難所等事業に係る 用地測量等説明会 R4年4月23日
都市計画法第77条の二 市町村都市計画審議会 に係る手続き等								R3年度第1回都市計画審議会 R3年11月22日			計画案の総覧 R4年2月7日～2月21日	R3年度第2回都市計画審議会 R4年3月26日	都市計画決定 R4年4月1日
協議会関連事項 & その他の関連事項	愛知県 河川流域委員会 R3年3月30日								事前協議 R3年12月28日	事前協議回答 R4年1月18日			

令和4年度

【令和4年度】名古屋都市計画公園の変更

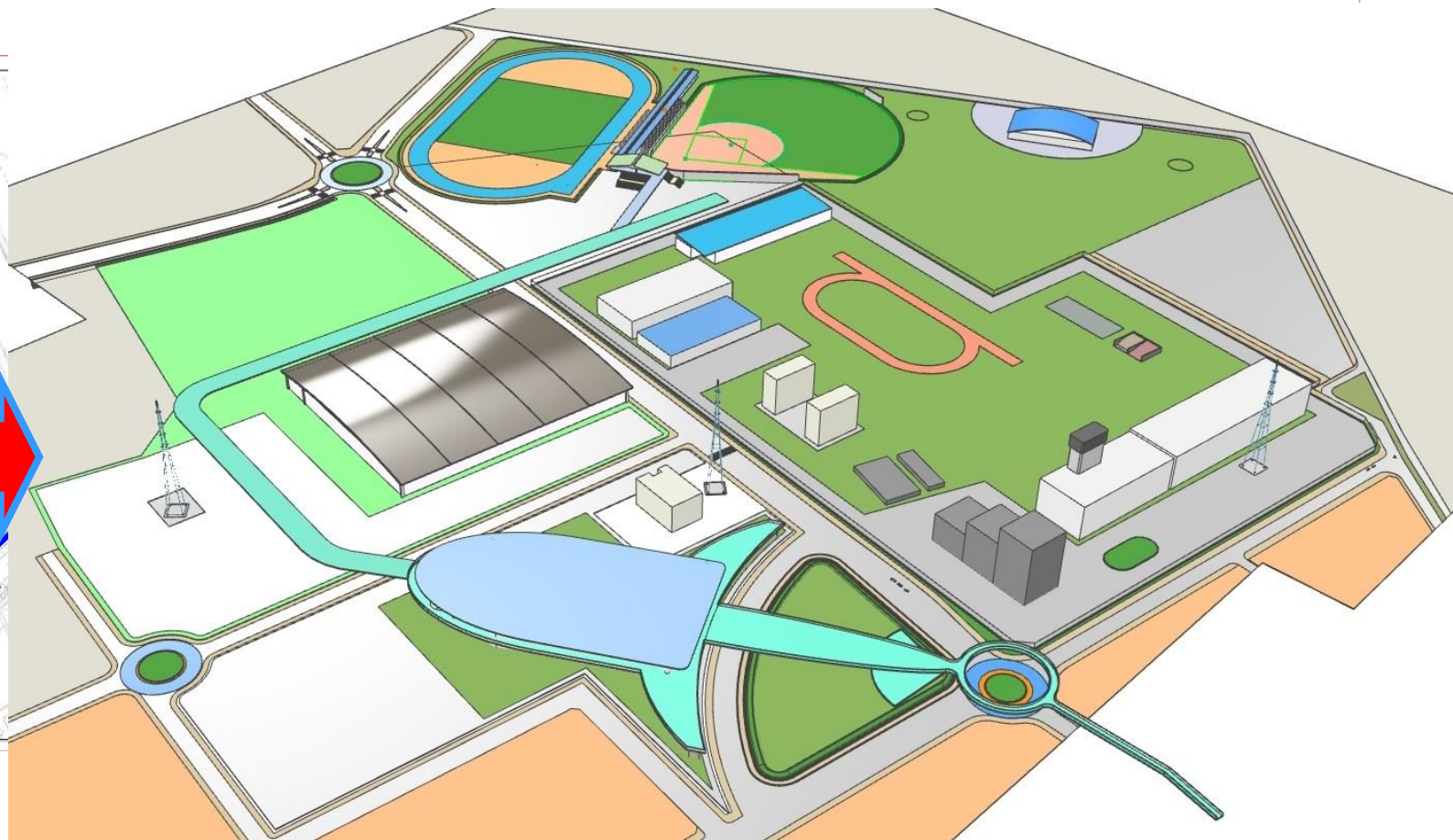
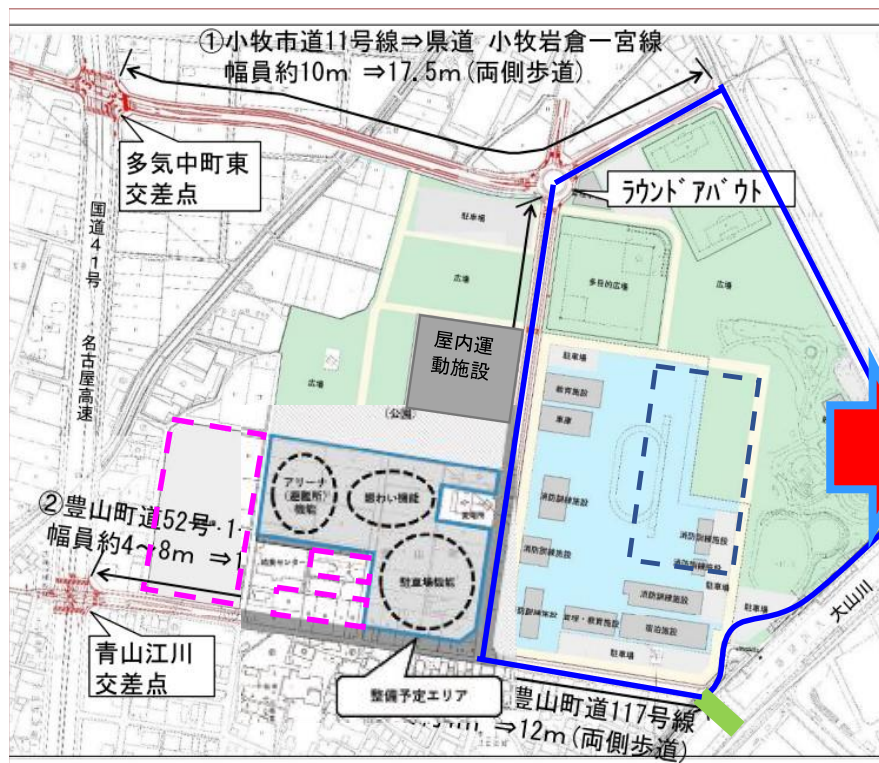
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
都市計画法第16条 公聴会の開催等 住民の意見を 反映させるために 必要な措置	愛知県基幹的広域防災拠点事業関連事業 及び 豊山町避難所等事業に係る 用地測量等説明会 R4年4月23日		愛知県基幹的広域防災拠点 に係る周辺道路計画説明会 R5年6月28日 7月2日					豊山町「避難所及び賑わい施設」 の事業計画説明会 R4年11月3・23日	愛知県 「基幹的広域防災拠点・調整池・調節池」 の計画説明会 R5年1月21・24日	避難所及び 賑わい施設関連の パブリックコメント 実施 R5年2月1日～2月15日	豊山町 「避難所及び賑わい施設」 の都市計画説明会 R5年3月4日		
都市計画法第77条の二 市町村都市計画審議会 に係る手続き等	都市計画決定 R4年4月1日										R4年度第1回都市計画審議会 R5年2月28日	計画案の総覧 R5年3月13日～3月27日	R5年度第1回都市計画審議会 R5年4月13日
協議会関連事項 & その他の関連事項		上西・上東実行組合長に よる上青山 地域住民アンケート R4年5月	上西・上東 自治会・実行組合 臨時合同役員会にて アンケート結果を報告 R4年5月	愛知県・豊山町 豊山町議会議員に アンケート結果報告書を 提出 R4年6月28日	境界立ち会い R4年7月	上青山地区防災拠点 連絡協議会設立 R4年8月6日	連絡協議会主催 防災拠点移転補償 勉強会 R4年9月3日	点滅信号交差点を ラウンドアバウトに することを求める 署名活動開始 R4年10月1日 要望書提出	連絡協議会主催 防災拠点勉強会 R4年11月5日	連絡協議会主催 防災拠点に係る 造成・整池・調節池 勉強会 R5年1月28日	豊山町商工会による 商工会員アンケート R4年12月	連絡協議会主催 豊山町 「避難所及び賑わい施設」 勉強会 R5年3月11日	R5年度第1回都市計画審 議会において意見陳述。 R5年4月13日
						連絡協議会主催 防災拠点勉強会 R4年8月6・8・9・10日	連絡協議会主催 防災用地買収勉強会 R4年9月17・24日	協議会だより①発行 (点滅信号交差点を ラウンドアバウトに) R4年10月1日	協議会だより②発行 (水害対策のお願い) R4年11月1日				連絡協議会主催 都市計画審議会 陳述報告会 R5年4月30日

令和5年度

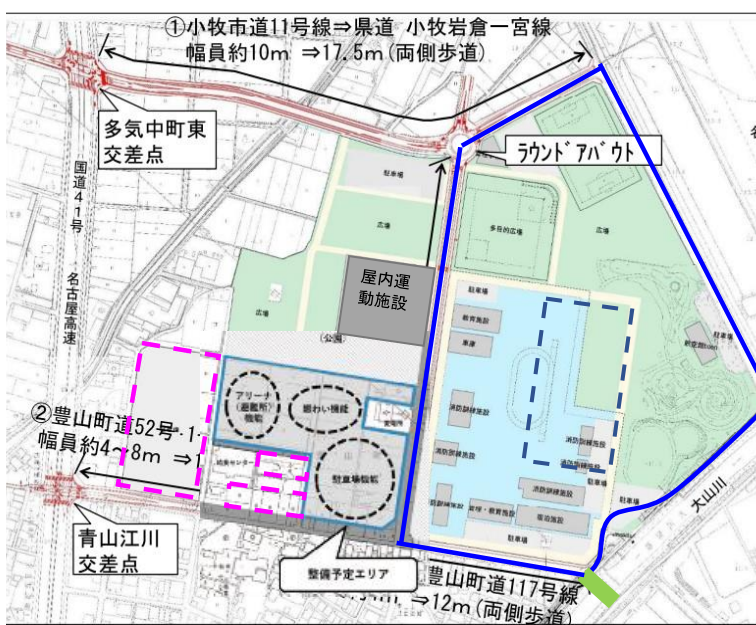
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
防災拠点事業において 住民の意見を 反映させるために 必要な措置			愛知県「基幹的広域防災拠点」 及び豊山町「避難所及び賑わい施設」 事業進捗状況等説明会 R5年6月25日・27日										
都市計画法第77条の二 市町村都市計画審議会 に係る手続き等	R5年度第1回都市計画審議会 R5年4月13日	都市計画決定R5年5月29日											
協議会関連事項 & その他の関連事項	R5年度第1回 都市計画審議会 において意見陳述 R5年4月13日			連絡協議会主催 都市計画審議会 陳述報告会 R5年4月30日	連絡協議会主催 防災拠点事業 地域住民勉強会 R5年7月16日		連絡協議会主催 防災拠点事業 地域住民勉強会 R5年9月17日						

提案・要望

素案



提案・要望



【提案 1】 防災拠点を西春日井地区の総合スポーツセンターに

【提案 2】 二箇所にあるラウンドアバウトの特徴を活かした
安全な交通体系の構築

【提案 3】 各施設は地域住民の利便性に配慮した
造り(レイアウト)に。

【提案 4】 広大な農地を失う農家に
都市近郊農業のモデルとなる・・・新たな農業振興策を。

【提案 5】 賑わい施設活用で、買い物難民の解消を

【提案 6】 もの創りとアートとの融合による芸術創造空間の創出。

【提案 7】 水道緊急時連絡管相互応援協定の締結

【提案 8】 飲料水兼防火耐震水槽の設置

【要望 1】 住宅区域の侵入車両対策・水害対策

【要望 2】 大山川堤防道路の再整備

提案1

公式屋内テニスコートを有する
屋内運動施設

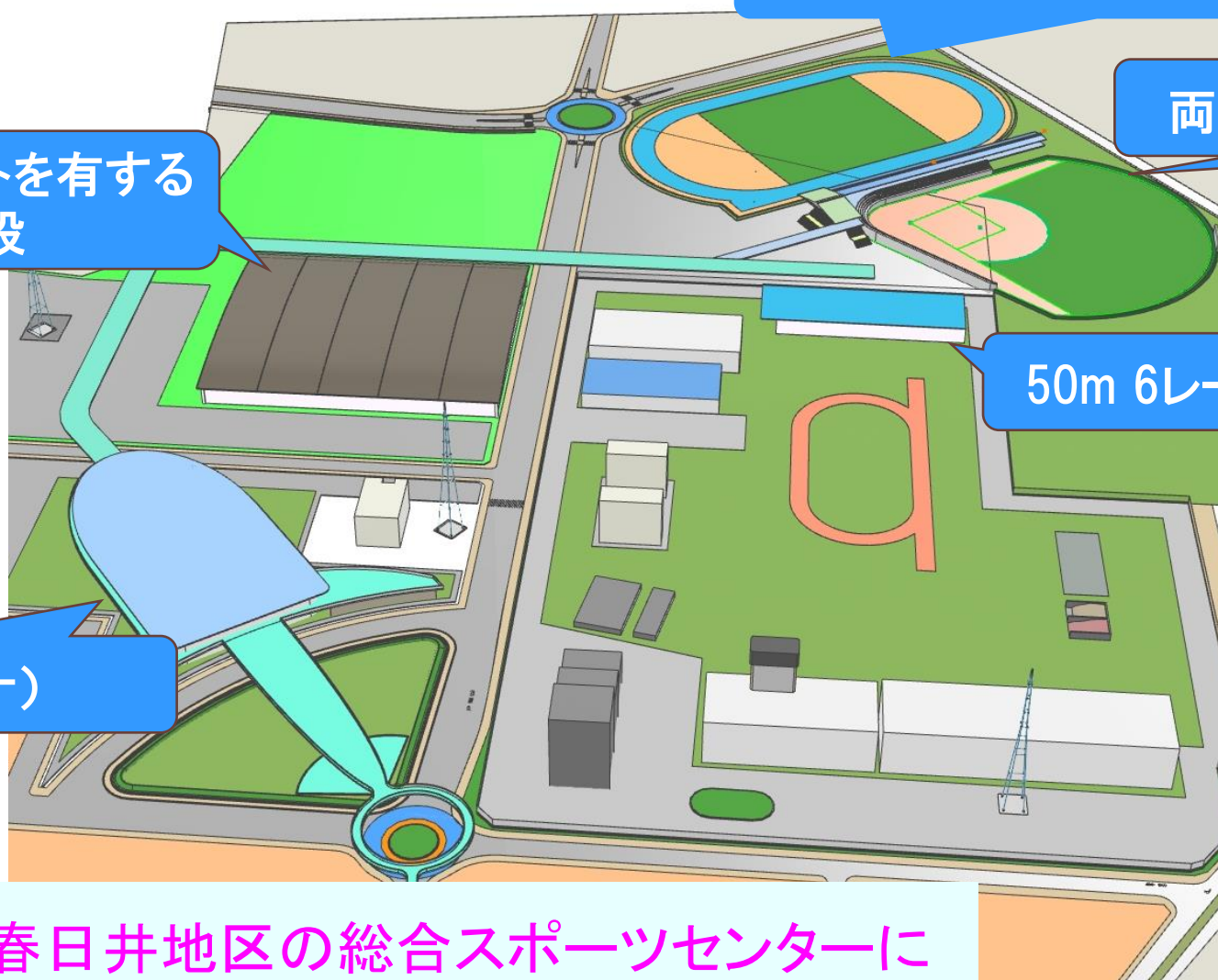
400mトラックを有する公認陸上競技場

両翼90m中堅120mの野球場

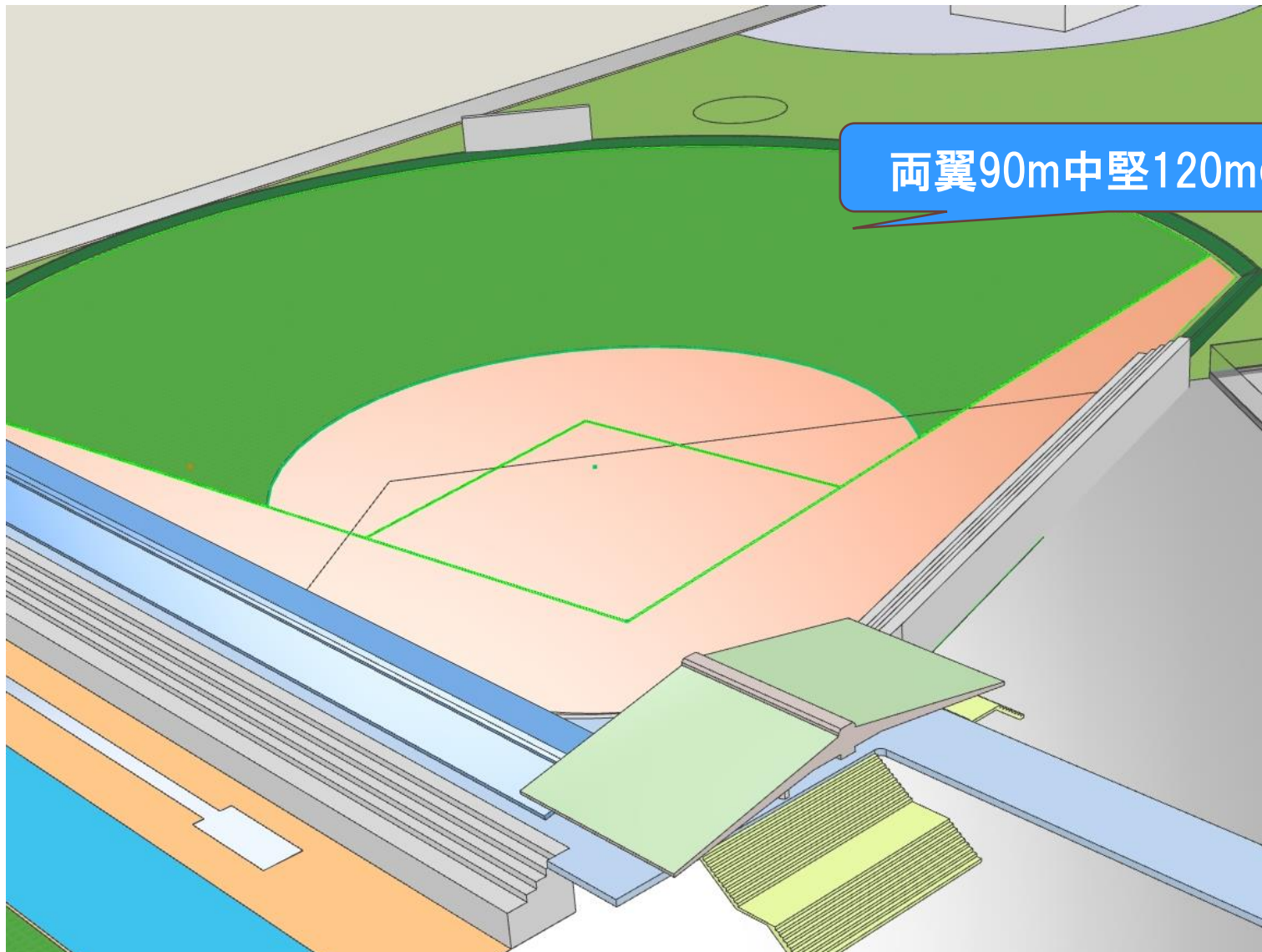
50m 6レーンの競泳プール

体育館(アリーナ)

防災拠点を西春日井地区の総合スポーツセンターに



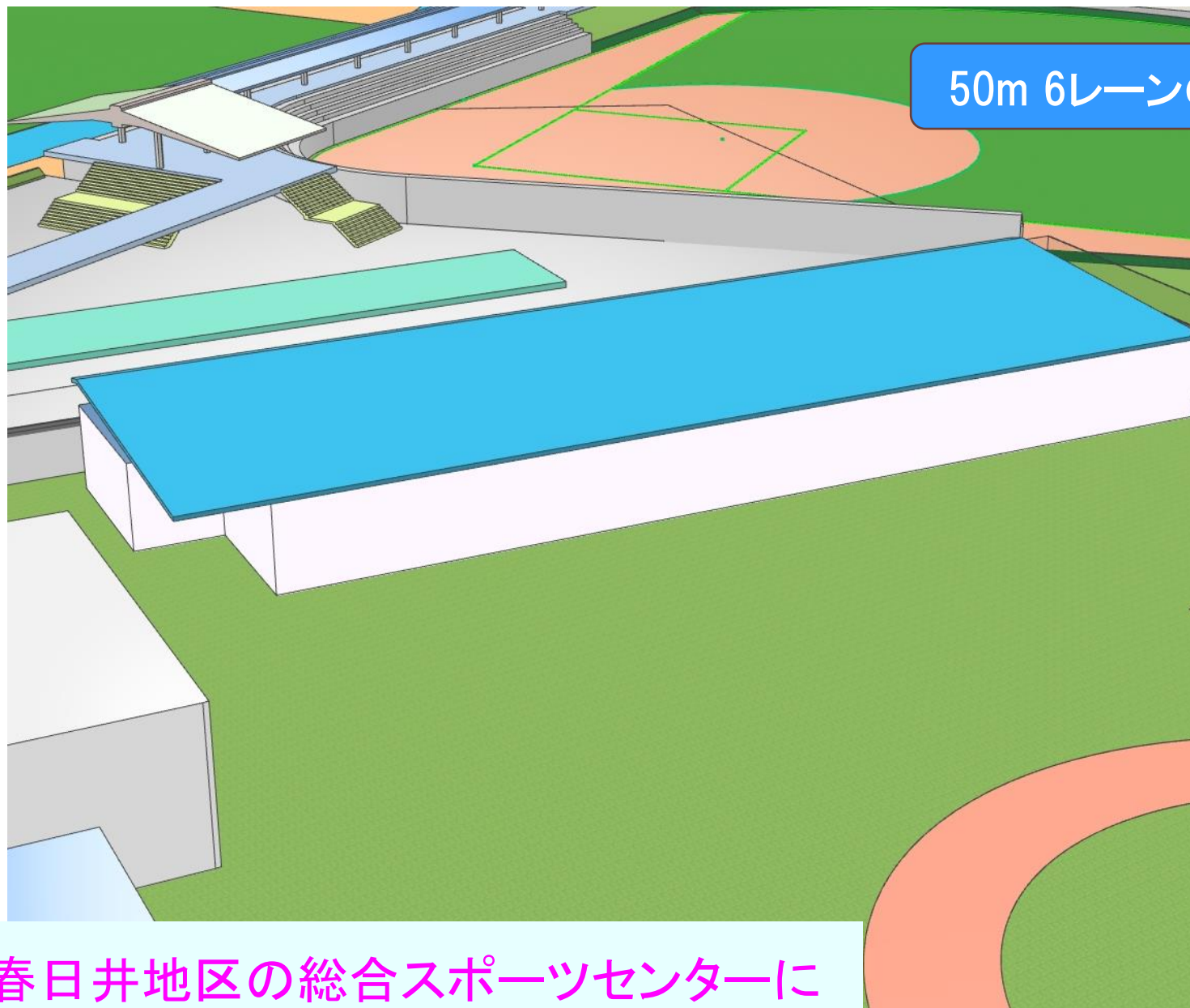
提言1



両翼90m中堅120mの野球場

防災拠点として西春日井地区の総合スポーツセンターに

提案1



50m 6レーンの競泳プール

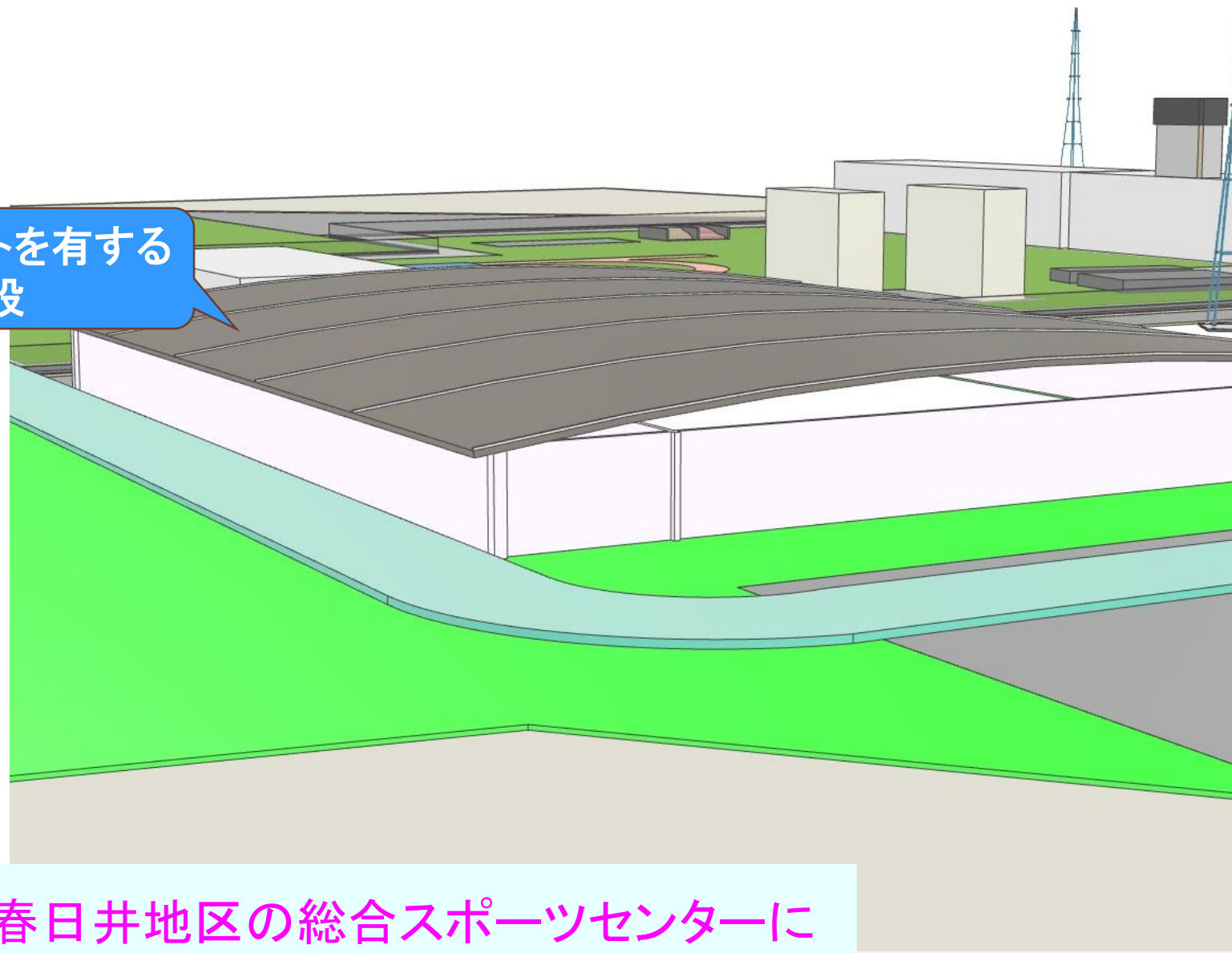
防災拠点として西春日井地区の総合スポーツセンターに

提案1



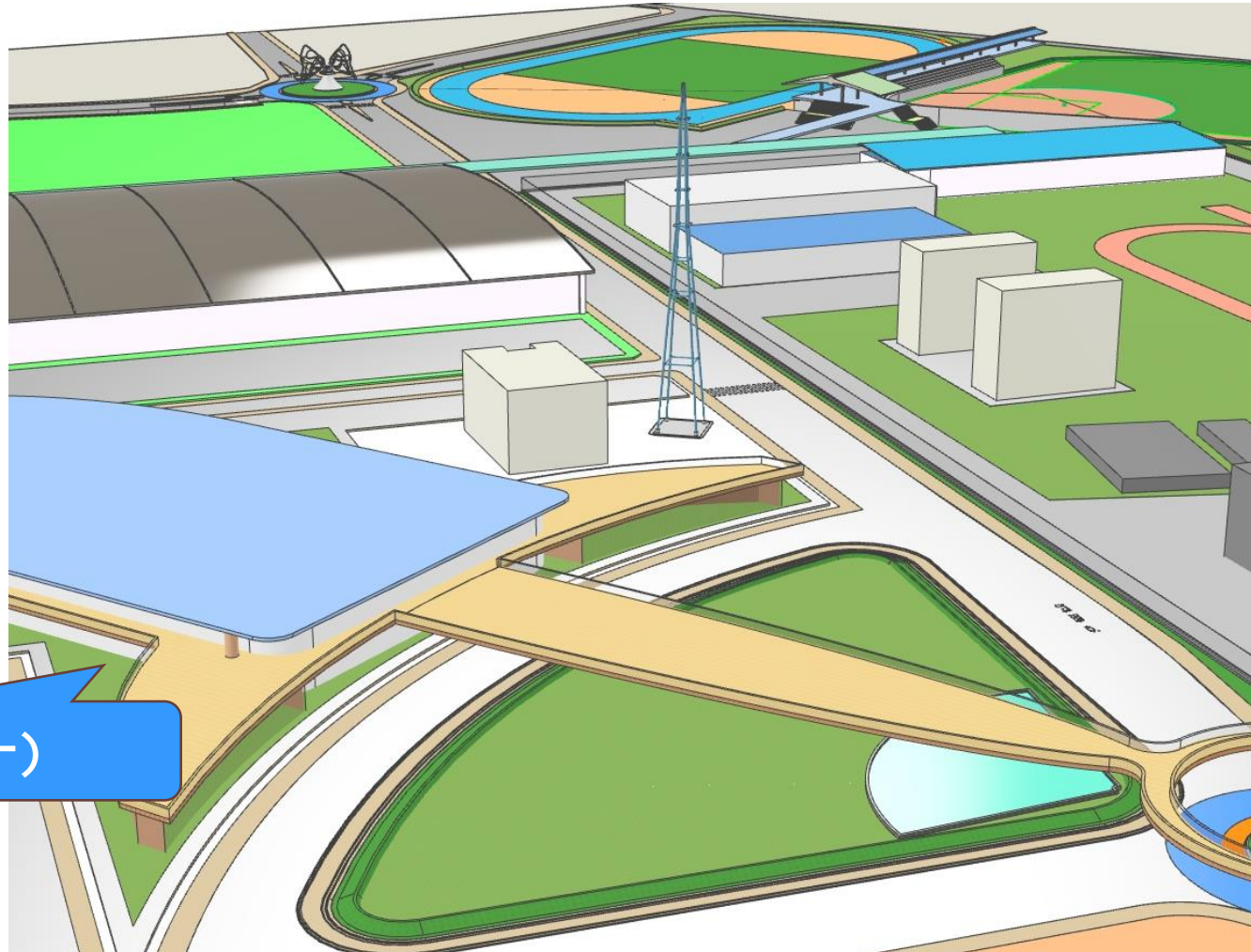
提案1

公式屋内テニスコートを有する
屋内運動施設



防災拠点として西春日井地区の総合スポーツセンターに

提案1



体育館(アリーナ)

防災拠点を西春日井地区の総合スポーツセンターに

提案1

公式屋内テニスコートを有する
屋内運動施設

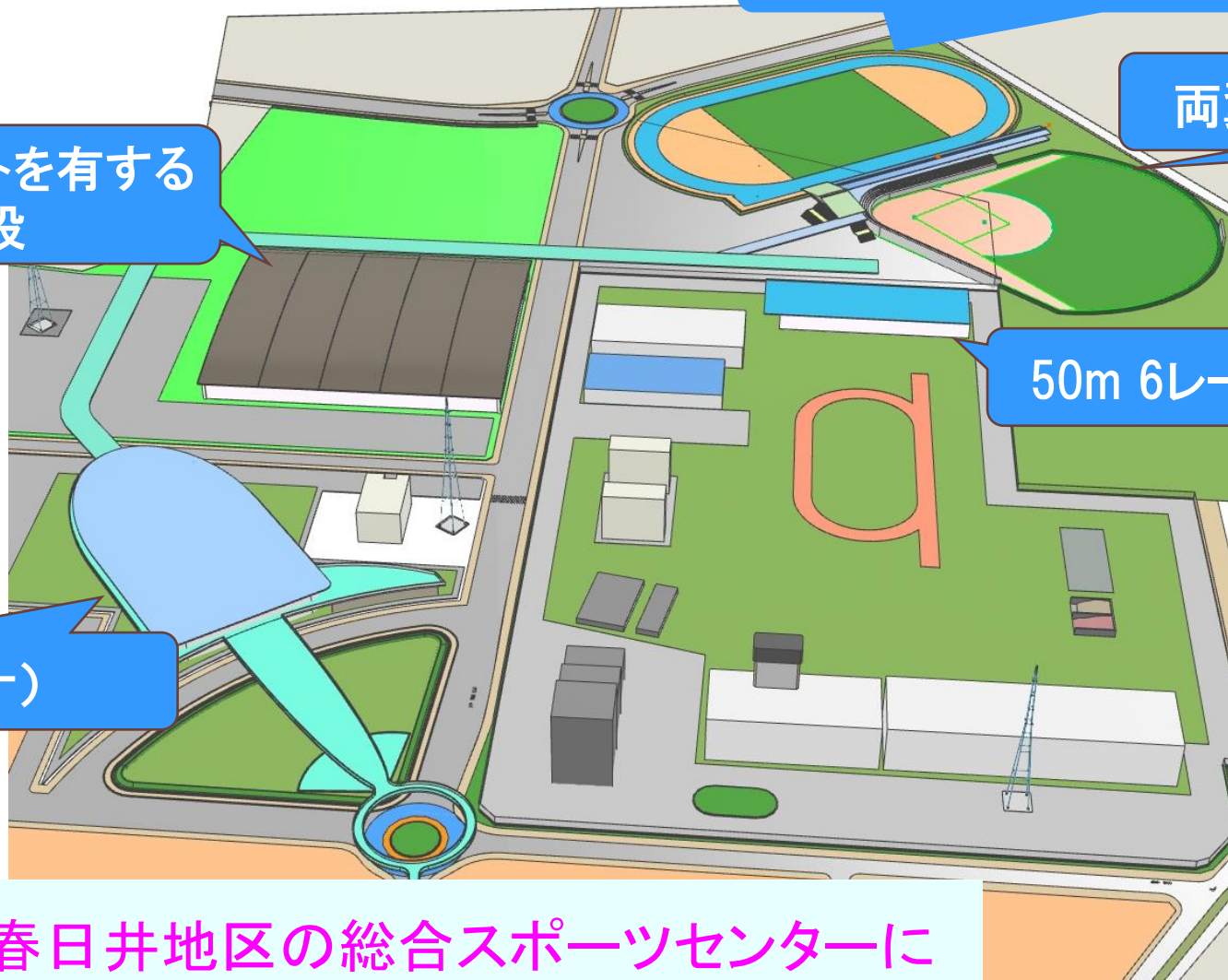
400mトラックを有する公認陸上競技場

両翼90m中堅120mの野球場

50m 6レーンの競泳プール

体育館(アリーナ)

防災拠点を西春日井地区の総合スポーツセンターに

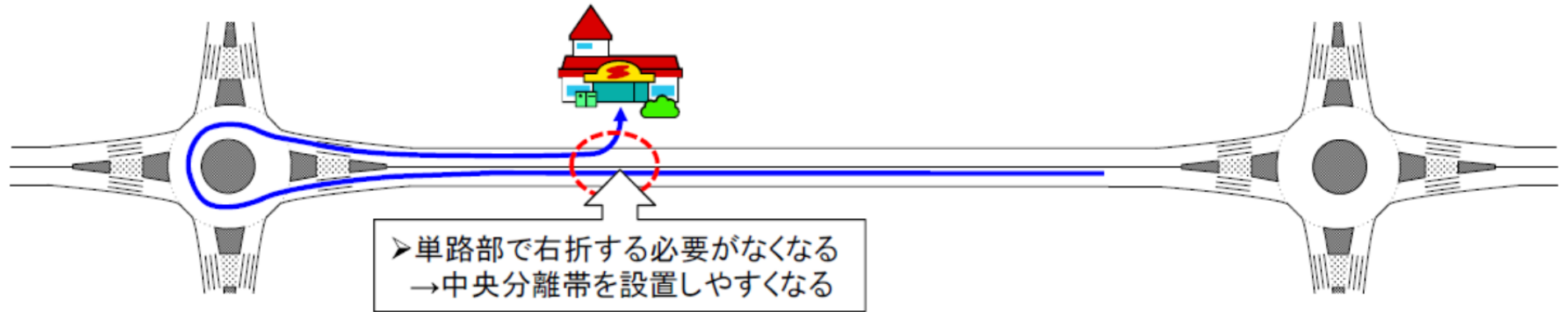


提案2

ダスキン前:ラウンドアバウト交差点

二箇所にあるラウンドアバウトの
特徴を活かした安全な交通体系の構築
(計画エリア内右折禁止)

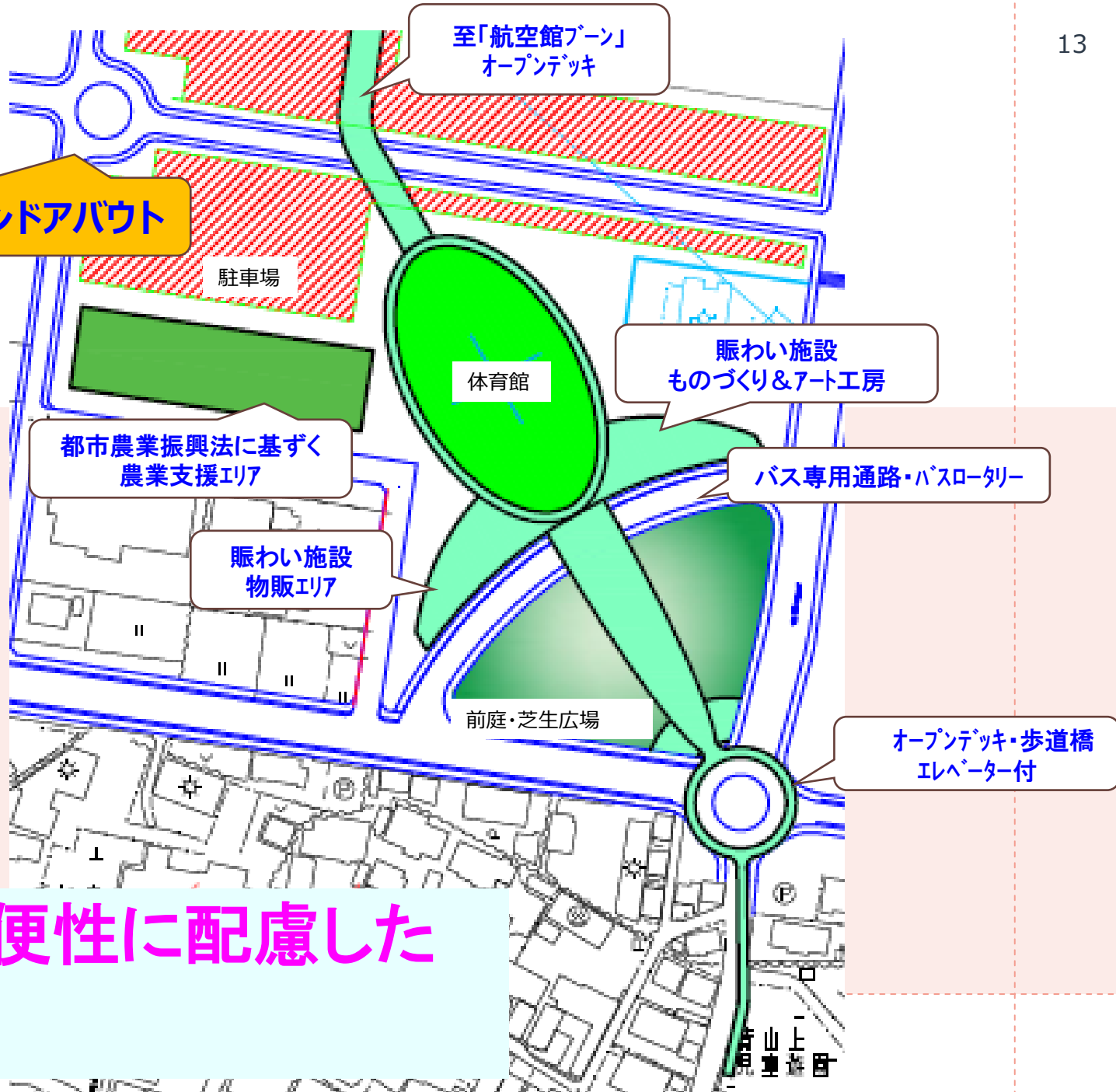
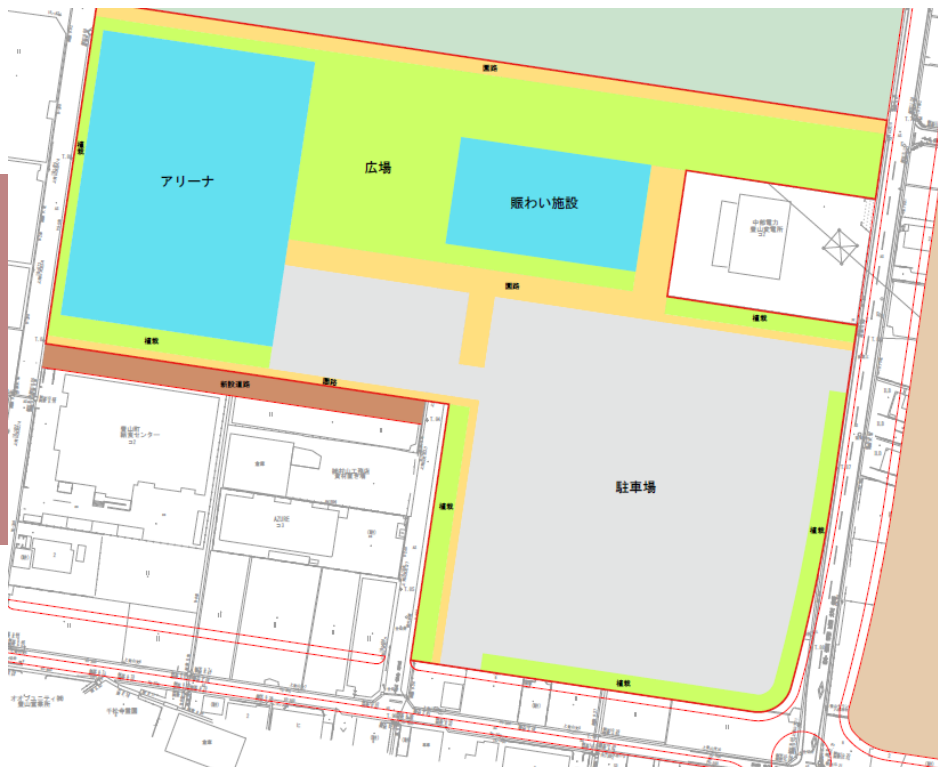
【仮説】ラウンドアバウトでのUターン(転回)により沿道施設への左折流入、退出が可能



八劔神社北:ラウンドアバウト交差点

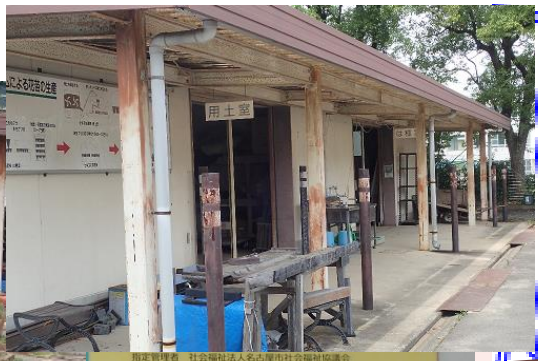
提案3

園内通路&ラウンドアバウト



各施設は地域住民の利便性に配慮した
造り(レイアウト)に。

提案4



都市農業振興基本法(平成27年制定)に基づく
農業支援エリア



広大な農地を失う農家に
都市近郊農業のモデルとなる・・・新たな農業振興策を。

提案4

都市農業振興基本法(平成27年制定)に基づく 農業支援エリア

空館ブーン
ブンデッキ

体験型 平時を楽しみ有事に備える、日本初の施設
ライフアミュゼメントパーク
nuovo

- 日々の暮らしの中で、誰もが気軽に立ち寄れる!
- 土や植物とふれあい農やアウトドアに親しめる!
- 有事の際の防災力や危機管理能力を身につける!
- 持続可能な開発のあり方を、みんなで見つける!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
nuovoはSDGs(持続可能な開発目標)の考え方に賛同し、積極的に取り組みます。なかでも次の6項目に重点を置いて運営してまいります。

- 資源生産** 自然に由来する資源をつくり、災害発生時にも人々の命を支えます。
- 生きる力を育める教育** 野外での体験や農作業、園芸の操作などを通じて多様な学びを体験することが出来ます。
- クリーンエネルギー活用** 太陽光発電や風力発電など、自然由来のエネルギーを活用します。
- 持続可能な生産・消費** 野菜・果物などの生産から加工・調理まで、持続可能な生産・消費を実現します。
- 自然災害への備え** nuovoでの運営やイベントを通じて、自然災害発生時にはどう備えるかを体験し、防災意識を高めます。
- 農山の確保** 関係者や市民と連携し、農地の有効利用を促進し、自然環境の保全に貢献していきます。

施設・設備: トレーラーハウス、太陽光発電、ドローン体験、宿泊施設、ハイオトイレ、スラックライン、ATVバギー、クローラバギー、チェーンソー、新割機、焚火、BBQ、農業体験、沼地エリア、バイオ燃料、ドームハウス、電気自動車、スノーモービル、重機体験、バギーコース整備、ホイルロー、クローラダンプ、パワーショベル、キャンピングカー、臨時ヘリポート、2F 戸田川緑地管理センター、フラワーセンター、ピクニック広場 Picnic Area



広大な農地を失う農家に
都市近郊農業のモデルとなる・・・新たな農業振興策を。

都市農業振興基本法が成立しました

- ・都市農地の位置付けを「宅地化すべきもの」から都市に「あるべきもの」へと大きく転換し、計画的に農地を保全



都市農業振興基本法(平成27年制定)

提案4

広大な農地を失う農家に
都市近郊農業のモデルとなる
新たな農業振興策を。

提案4



広大な農地を失う農家に
都市近郊農業のモデルとなる……新たな農業振興策を。

提案5



園内通路&ラウンドアバウト



都市農業振興法に基づく
農業支援エリア
(ミニホームセンター等併設)

賑わい施設
物販エリア
(スーパー・コンビニ
等併設)

賑わい施設活用で、買い物難民の解消を

オープンデッキ・歩道橋
エレベーター付

前庭・芝生広場

体育館

賑わい施設
ものづくり&アート工房

バス専用通路・バスロータリー

至「航空館ブーン」
オープンデッキ

駐車場

上
松寺

山
上
寺
キスト

提案6

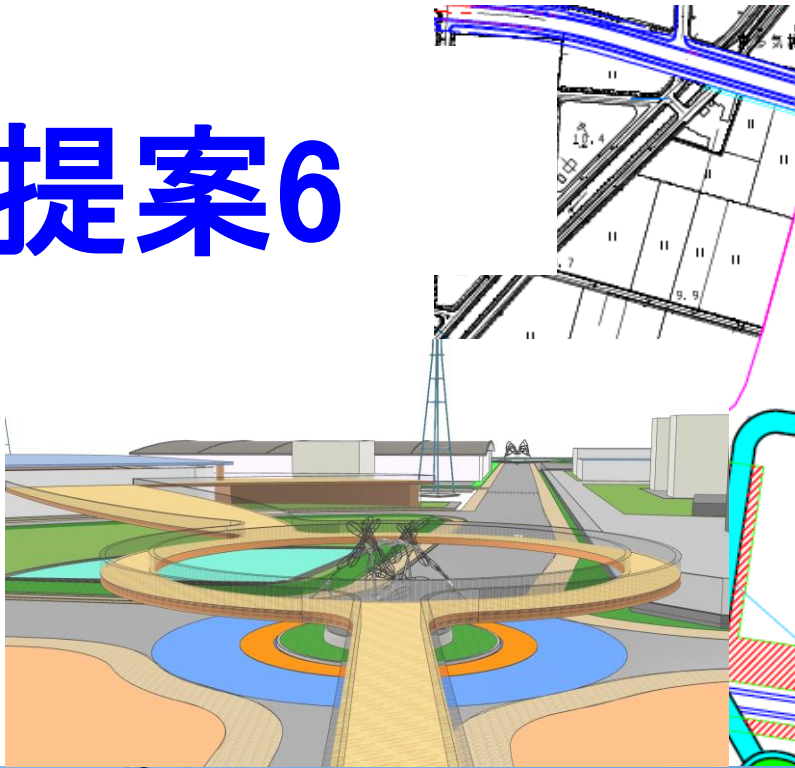


賑わい施設
ものづくり&アート工房



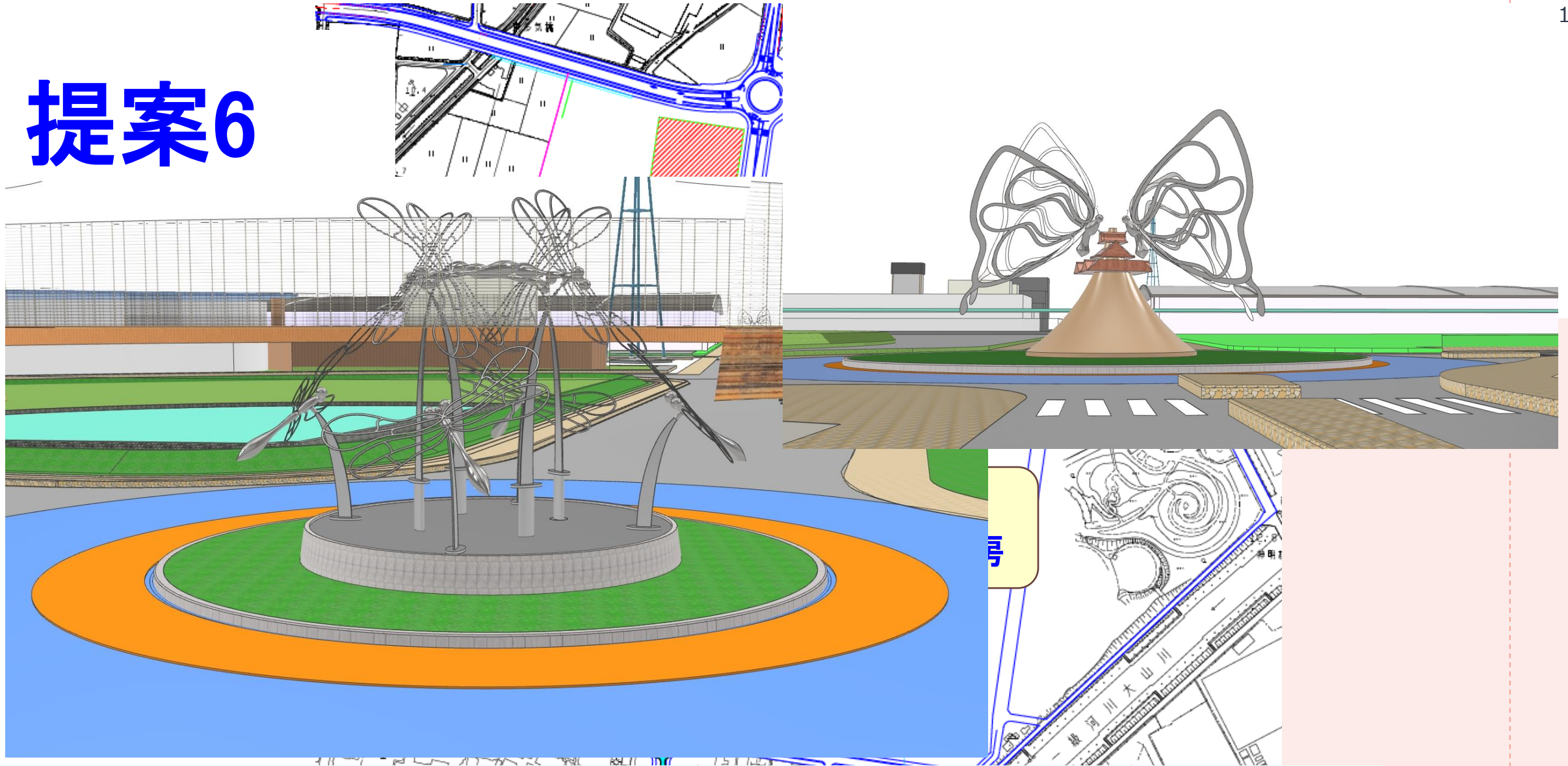
もの創りとアートの融合による芸術創造空間の創出。

提案6



もの創りとアートとの融合による芸術創造空間の創出。

提案6



もの創りとアートとの融合による芸術創造空間の創出。

提案7

緊急連絡管とは、地震等緊急災害時の対策として、近隣の水道事業者との間で上水道の相互応援給水を図れるよう、水道緊急連絡管を布設することです。

平時はバルブを閉じており、災害時には、被災地からの要請でバルブを解放する協定です。

この協定を結ぶことにより、断水区域への給水が可能となることから、消防活動や給水タンク車への飲料水補給が可能となります。

災害発生時のライフライン確保に必要な協定と考えます。

防災拠点事業に合わせ、近隣市(小牧市)と同協定を締結して、水道緊急連絡管を布設するべきと考えます。

連絡協議会は上水道整備に関する施策を提言いたします。

- ◎ 近隣市(小牧市)との緊急時連絡管の協定書を締結する。
- ◎ 管網整備及び耐震化の推進。
- ◎ 緊急時用連絡管の整備事業。

補助金制度あり

小牧市と水道緊急連絡管相互応援協定を締結する。

提案8

耐震性貯水槽は、水道管路に設置されることから、常時水道水が循環しており、水質が保全されていると聞いております。

災害時に水道管の破損などで、配水管水圧が下がると、緊急遮断弁が自動的に作動して貯水槽内に飲料水が貯留される様です。

避難所に安全な水を確保するためにも耐震水槽が必要と考えます。

◎災害時の飲料水

3ℓ/1人x3日分必要と言われているが、4日分、青山地区人口3,000人として試算

$$3,000 \times 3\ell \times 4日 = 36\text{m}^3$$

◎耐火水量 40m³以上

- ・防火水槽は40m³以上
- ・毎分1m³以上でかつ連続40分以上の能力を有する。

飲料水と防火水量の合計で、76m³ 余裕を持って80~100m³の容量の耐震水槽が必要と考えます。



飲料水兼防火耐震水槽の設置

住宅区域の侵入車両対策・水害対策

要望1

町道1号	要望	アスファルト舗装を(インターロッキング)ブロック舗装にする。	作成日	2023年 7月 14日
------	----	--------------------------------	-----	--------------

		現状(計画)	改善案		
参考図			<div data-bbox="1447 282 1740 425"> <p>名古屋市守山区 生玉稻荷神社前</p> </div> 		
	説明	<p>八剱神社前の町道1号は道幅5~7mほどの狭い道路ですが上青山地区のメインストリートとなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 八剱神社裏の公園は小学生の登校時集合場所となっています。 ◎ 登校時の時間帯は進入禁止となっていますが、守らない車も時々見かけます。 ◎ 堤防道路開通後は、堤防道路のハンプを兼ねて交通量が増えているように感じます。 	<p>ブロック系舗装は、インターロッキングブロックや天然石等を路盤や基盤上に敷設した舗装です。インターロッキングブロック舗装の製造には、鉄鋼スラグ、再生骨材、エコセメントなど様々なリサイクル材の使用や煉瓦屑や瓦屑などエリア特性を生かした活用もできます。また、復旧工事などでは再度施設できるなどのリユースが可能です。</p>		
評価	寸評	判定	評価項目	判定	寸評
	路面表示がはげたとこがあり、交通安全の確保が困難になっています。	×	歩行者に対する効果	○	色彩の異なるコンクリートブロックを用いて視認性の高い路面表示が可能であり、交通安全の確保に寄与します。
	夏季の日中に日射を受けると表面温度が60℃程度にまで達し、大気を加熱します。また、日中舗装面に蓄えられた熱は、夜間の気温低下を妨げる原因になるといわれています。道路に保水能力は無く、水害対策にはなりません。	×	環境性能	○	透水性ブロックや保水ブロックを用いることにより、環境にやさしい空間が創出でき、都市におけるヒートアイランド現象の緩和に寄与します。道路に保水能力がある為、水害対策にもなります。
	車両速度抑止効果が無く、騒音の軽減はできません。	×	騒音	○	車両速度抑制効果があり、騒音が低減されます。
	モトーンで潤いのない景観です。	×	景観	○	ブロックの形状や色調・素材感により周辺環境と調和した空間を創造することができます。
	ひび割れ等劣化時の補修費は高額となります。	△	コスト	△	施工費が高額となりますが、維持管理コストは低くなります。
生活道路への進入車両を抑制できません。	×	侵入車両抑制	△	生活道路への進入車両を抑制できます。	

通称名	大山川堤防道路	要望	大山川堤防道路の再整備	作成日	2023年 7月 14日
参考 図	現状(計画)		改善案		
			 <p data-bbox="1439 882 1778 921">岐阜県せせらぎ街道芝桜</p>		
説明	<p>昨年度大山川堤防道路が完成し以前からあった堤防上面の道路は遊歩道(緑道)となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 堤防側壁は雑草が伸び放題となっており残念な風景となっています。 ◎ 河川内側には、樹木が自生しており景観を損ねています。 ◎ 部落内から遊歩道部に上れ無い(歩行者用1カ所・自転車用1カ所) ◎ 神明公園入り口部の車道クランク部が狭いため、4トン車では通り抜けができない。部落内への侵入者量が増える要因の一つになっている。 ◎ 車道部、ハンプがなくなると加速する車が多い。 		<p>堤防西側側壁部・神明公園丘陵部に、芝桜を植栽し、芝桜のみちとして整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ めぐみ橋神明公園間及び神明公園丘陵部に芝桜を植える。 ◎ 堤防上面のアスファルト舗装をブロック舗装に変更する。 ◎ 歩道部にベンチを配置する。 ◎ 河川内側に自生している樹木を伐採する。 ◎ 遊歩道部に街路灯を設置する。 ◎ 町道117号線東端に自転車用登坂道を設置する。 ◎ クランク形状をなめらかにして、スムーズに通り返けできるようにする。 ◎ ハンプの追加・一旦停止等、車両の通過速度を落とす対策を取って欲しい。 		

ありがとうございます

上青山地区防災拠点連絡協議会

代表幹事

井上春夫

